

轍へ込めた祈いよ届け

2年前の始業式、たった2人の高校3年生が教員室にやってきた。西紋あかりさんと、松野友里愛さん。「先生、被災地を応援したい。」こうして「東日本大震災被災地応援実行委員会」が発足した。すぐに仲間呼びかけ実行委員会が始動した。翌日「轍」1号が発行された。それから2年、轍は43号になった。

「気持ちを形に、形に優しさを込めて」を胸に刻んで、気仙沼に、福島に石巻に… 食品・衣類・布団・文具・生活用品・家電製品・カメラ・アルバム・CD・DVD・デッキ等々。必要なものを必要な方に必要な時期に、大勢の方の助けを得ながらお届けできた。そして受け取って頂いた方々からは、温かいお礼状が届けられた。そのいずれも力強さと、優しさが満ちあふれていた反面、「被災者の方々が一日でも早く、笑顔になれるように」と願ってはじめて活動は、まだ道遠いことを被災地の現実で知らされた。

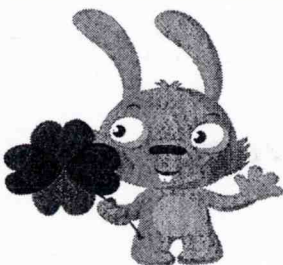

被災地を知る

今回は3月末に届いたお礼状を紹介しながら考えてみたいと思います。

震災から2年…長いような短いような時間を感じています。震災で、家族や家を失った多くの方々がいらっしゃいます。幸いにも私は、そのどちらも無事でした。無事なのは被災者でない…被害の大小によって、そういった雰囲気があります。被災地に居るけれど被災者でない。そう思おうと思わなければと頑張っていました。だから頂くのを遠慮しました。しかし、「被災地にいる人は みんな被災者だから」と言われ、平安女学院の方々もそう受け止めて下さっているとお聞きしたので有り難く頂戴いたしました。みんな被災者と言われてフーっと力を抜くことが出来ました。やっと少し泣くことが出来ました。


私が、震災以降、初めて頂いた支援物資が、このCDとDVDです。CDの歌声が、がんばったね。と言ってくれているように感じました。歌声が、あたたかかったです。ありがとう。

私には5人の子どもが居ます。ケーキの無い3月の誕生日、普段着での小学校の入学、おさがりの制服での中学高校入学。思いもしなかった出来事の連続の毎日でした。多くの方々にたすけていただいて、やっと日々を過ごせました。私のように被災地にいるけど被災者で無い…そう思おうとして過ごしている人もいること、そして被災地を忘れないで下さい。「忘れない」そう言ってくれる人が1人でもいるだけで、がんばれます。子ども達が通っていた幼稚園の牧師さんがおっしゃった言葉に「神は決してあなたの手にあまる試練は与えない」というのがありました。私たちは負けません。見守って下さい。みなさんのもとに幸多かりし事をお祈り致します。(全文はもっともっと長いので一部分の紹介です。)

	<p>お礼状の中のCD、DVDとは、オリジナル曲「明日へ」が収められているものです。是非お買い求め下さい。</p> <p>¥200</p>	
	<p>季節の花柄ハンカチの販売にご協力下さい！！</p> <p>カーゼ地チューリップ柄・大判綿ローン地サクラ柄</p> <p>¥500円</p>	

レポート

陸前高田市の故郷で照井良平作 「ガレキのことばで語れ」より



ガレキの中を歩けば
とげとげしく突き刺すガレキのことばが
容赦なく生き身の身体を
四方八方から襲い
八つ裂きにし
たまらず 傷口が
ふつつつと湧くうつろなことばで
あふれ出す ところかまわず狂い咲く
そこまで どつぶり
ガレキに浸かるまで歩いて探せ
ことばがないなどとは言うな
ことばで語ることができないならば
ないことばで語れ
ガレキのことばで語れ
ガレキの涙のことばで語れ
そこに遺影がある
ことばの遺影がある

初めて被災地を訪れたのは震災後1ヶ月と1週間が過ぎた時でした。その時見た光景を私は伝えることばを持ち合わせていませんでした。長い人生の中で使ったことばの中に、あの日あの時見たことを伝えられることばがない事に愕然としたのを覚えています。そして、「轍」(2011,4,18 6号)にこう書きました。

被災地の現状は、想像をはるかに超えた。伝えられることばを私は探し続けたが…ない。1ヶ月が過ぎても…町中が、がれき がれき がれきの山。川には橋がない。ひっくり返った屋根が川に突き刺さっている。がれきを道端に寄せて道路が見えるところはまだよい。道路がどこにあって、電柱がどこにあって、建物がどこだったのか全く跡形もない。

「がれき」と「へどろ」の山が、見渡す限り続く。先日、「ガレキのことばで語れ」の詩が目飛び込んできた。2年経った今、私は被災地を伝えることばを見出したらだろうか…と自己に問うたのですが…。
今井千和世

新曲「For You」完成

音楽は心を癒す力が凄いです。だから、私たちは被災地に私たちの気持ちを込めた歌を送ろうと決めました。そこで出来たのが「明日へ」です。

私たちは来月5月11日(土)午後、被災地応援イベントを計画しています。現在、演奏&アラカルトの内容を検討中です。その日のために新しいオリジナル曲を作りました。このイベントについては、今後お知らせしていきます。

何かしたいと思う人実行委員になりませんか！